

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局総務区課		重点項目 ・局の総括 ・地域に最も身近な区役所が、地域のニーズを的確に把握し、住民主体のまちづくりを推進する。 ・区行政の拠点である区役所・出張所施設の維持・改善を図る。							
	課長名	上村 鋭治		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	1,205,122 千円	人件費	目安の金額	課長 1 人
						平成29年度当初予算額(B)	998,731 千円		係長 2 人	
						増減額(A-B)	206,391 千円		職員 7 人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				区行政推進事業(投資)	市民に最も身近な区役所が、地域のニーズを的確に捉えながら、市民と協働して、地域の課題解決や、人材育成、地域の特色を活かしたまちづくりを推進する。		26,557	21,475	-5,082
2				区行政推進事業(行政)			173,443	154,530	-18,913
3		○		<新>黒崎城跡福岡県文化財指定記念事業(市民還元事業)	H29.3月に黒崎城跡が県文化財に指定されたことを記念し、黒崎城跡及びその地元である黒崎の歴史や文化、魅力等をあわせて市内外へ広く発信する。	多様化する市民ニーズに対応した施策の実現のため、関係局と連携し、地域の特色や実情に応じた事業を展開する。事業の実施にあたっては、市民太陽光発電電収入等の特別財源を活用する。		4,500	4,500
4		○		<新>曾根の神幸祭200周年記念事業(市民還元事業)	曾根の神幸祭(市指定無形民俗文化財)が来年200周年を迎えるため、この特色ある伝統芸能を地域内外にPRし、将来を担う子供たちへ引き継ぐために記念事業を実施する。			2,500	2,500
5				区行政総合調整費	区行政全般に係る施策などを推進するため調査等を行う。		990	862	-128
6				出張所の機能強化	出張所に保健福祉相談員を配置し、区の保健福祉課と連携した保健・福祉サービスを提供する。	人件費の一部を総務職員費(総務局給与課所管)に移動した。	33,165	13,854	-19,311
7		○		若松区ロゲイニング事業(市民還元事業)	参加者が競技を楽しみながら、若松区の歴史・味・美しい景色、人とのふれあいを体験できるよう、あるきingに競技要素を加えたロゲイニング大会若松区版を実施する。	—	2,000		-2,000
8		○		旧八幡市制100周年記念事業(市民還元事業)	旧八幡市発足から100周年を迎えるにあたり、八幡の歴史や文化、魅力などを再確認し、シビックプライドの醸成に繋げる契機とするため、記念事業を実施する。	—	8,000		-8,000
9				区役所・出張所改修事業	市民が利用する区役所・出張所庁舎の施設機能を維持していくため、施設改修を実施する。	老朽化が進む区役所・出張所庁舎の機能維持のため、優先順位を付け、計画的に庁舎の整備を行う。	56,160	23,100	-33,060
10				区役所・出張所庁舎整備事業	区役所・出張所庁舎の維持補修を実施する。		20,000	20,000	0
11				コムシティ老朽設備大規模改修工事	コムシティの設備改修に係る経費。	八幡西区役所が入居するコムシティの施設維持のため、優先順位を付け、計画的に整備を行う。	10,454	19,800	9,346

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12			○	区役所自家発電設備整備事業	大規模災害時発生時に災害対応の拠点となる各区対策部の機能保持に必要な電力確保のため各区役所の自家発電設備の整備を行う。	—	17,300		-17,300
13			○	門司アカデミアサポートセンター解体工事	平成20年度より使用実績のない、アカデミアサポートセンターを解体するための経費	—	9,400		-9,400
14		○		<新>小倉北区役所庁舎電気・機械等設備管理業務	小倉北区役所庁舎の電気・機械等設備管理業務の委託に要する経費	—		54,692	54,692
15		○		<新>小倉北区役所東棟冷温水発生機整備事業	小倉北区役所東棟にある冷温水発生機整備のための経費	—		9,761	9,761
16		○		<新>区役所光熱費(臨時)	時差出勤試行実施経費の区役所負担分	—		2,000	2,000
17		○		<新>区役所公用車リース化(門司区役所・戸畑区役所)	門司区役所及び戸畑区役所で使用する公用車のリース経費。	—		6,000	6,000
18				区役所公用車リース化(八幡西区役所)	八幡西区役所で使用する公用車のリース経費。	—	11,424	11,717	293
19				区役所公用車リース化(小倉南区役所)	小倉南区役所で使用する公用車のリース経費。	—	7,108	7,108	0
20				区役所公用車リース化(若松区役所)	若松区役所で使用する公用車のリース経費。	—	4,516	4,516	0
21				庁舎一般管理(市文・総務区政課)(法律・条例)	区役所公用車の自動車重量税など、法定の経費。	—	136	135	-1
22				庁舎一般管理(市文・総務区政課)	区役所運営に係る経費。	—	75,000	79,854	4,854
23			○	区役所・出張所庁舎整備事業	区役所・出張所庁舎の維持補修を実施する。	事業内容に応じて、No.24「庁舎維持管理事務」に統合した。	22,905		-22,905
24				庁舎維持管理事務	区役所や出張所の維持管理に係る経費。	—	327,210	516,805	189,595

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
25				八幡西区役所来庁者に 係る市営駐車場使用料	八幡西区役所来庁者が利用する市営駐車場に係る経費。	—	18,506	18,397	-109
26				コムシティ管理経費	コムシティの維持管理に係る経費。	—	150,916	150,409	-507
27				電話交換設備借入れ	老朽化した門司区、小倉南区、若松区、八幡東区、八幡西区及び戸畑区の電話交換機を更改し、良好な通信環境を整備するもの。平成29年9月借入開始。		6,000	12,188	6,188
28		○		<新>コールセンター整備事業	区役所の電話通信網を構築するとともに、コールセンター業務を行うためのフロア整備を行う。	市民サービスの向上と経費節減を両立するため、より効果的・効率的な運営体制の検討及び電話通信網の整備を進める。		53,795	53,795
29		○	<新>コールセンター整備事業(行政)						
30				各種団体補助事業(市 文・総務区政課)	小倉検察審査協会への活動助成。	—	54	54	0
31				研究会等参加【区役 所】	区役所職員の人権研修等各種研修参加に要する経費。	—	396	443	47
32				区交際費	地域行事の参加費等。	—	4,300	4,300	0
33				総務課事務管理費	局内の管理運営に係る経費。	—	12,679	11,002	-1,677
34				研究会等参加費	局職員の人権研修等各種研修参加に要する経費。	—	112	120	8

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局戸籍住民課		重点項目	住民基本台帳、戸籍、住居表示等の区役所業務が確実かつ効率的に遂行できるように指導、改善、調整を行う。							
	課長名	土井 則己		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	510,676 千円	人件費	目安の金額	課長	1
平成29年度当初予算額(B)			592,367 千円			69,000 千円	係長		2	人	
					増減額(A-B)	-81,691 千円					
								職員	5	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				戸籍住民基本台帳事務	戸籍法、住民基本台帳法などに基づき適正に事務を行う。	—	70,431	66,271	-4,160
2				住民登録促進月間 (ハローin北九州)事業	市内の大学等に住民登録の促進に向けた呼びかけを行う。	—	482	482	0
3				市民課入力業務・窓口案内業務の委託化	市民課の異動届等入力業務と、市民課フロアでの記入支援及び総合案内業務を委託化する。	—	120,967	33,756	-87,211
4				証明書発行用ファクシミリリース	証明書発行事務用のファクシミリをリース契約により市民課・出張所等に設置する。	—	10,824	10,862	38
5				通知カード・個人番号カード関連事務の委任	社会保障・税番号制度の導入に伴い、通知カード及び個人番号カードに関連する事務を省令に基づき地方公共団体情報システム機構に委任する。	—	150,125	113,875	-36,250
6				個人番号カード普及事業	個人番号カードの交付について、業務委託等を活用することによって、市民課業務を円滑に実施し、カードの普及に努める。	—	28,720	29,300	580
7				証明書コンビニ交付サービス事業	住民にとって身近なコンビニエンスストアで住民票等を取得できるコンビニ交付サービスの円滑な実施と維持管理に取り組む。	—	7,247	7,906	659
8				証明書コンビニ交付サービス維持管理事業		—	12,500	10,359	-2,141
9				システム関連一般管理費	全国の住民基本台帳システムをネットワークで繋ぎ、全国共通の本人確認が出来る仕組みを構築し、高度情報化社会に対応した住民のサービス向上や事務の効率化を図る。	—	47,766	47,766	0
10				住民基本台帳ネットワーク事業		—	6,540	2,981	-3,559
11				住基ネットCS端末等リース		—	767	767	0
12				住民記録システム住基ネット連携機能運用保守事業		—	29,746	57,000	27,254

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
13			○	番号制度(情報提供)ネットワーク対応事業	社会保障・税番号制度の導入に伴い住民記録システム等の改修作業を実施する。	—	1,900		-1,900
14			○	旧姓併記制度対応事業		—	80,000		-80,000
15			○	ICTインフラの更新に伴う戸籍総合システムの改修事業(債務負担)	システム基盤や基幹系端末の更新に伴い、現行の戸籍総合システムを新たなインフラに対応させるための改修を行う。	—	7,776		-7,776
16		○		<新>小倉駅南口再開発公益施設入居事業	小倉駅南口東地区市街地再開発事業により整備される再開発ビルの1階に、公益施設として小倉行政サービスコーナーが入居するため、整備を行うもの。	—		16,600	16,600
17		○		<新>市民課等「窓口受付呼出システム」更新事業	区役所市民課及び折尾・曾根出張所に設置している窓口受付呼出システムが老朽化したため更新を行うもの	—		9,000	9,000
18		○		<新>市民課入力業務・窓口案内業務の委託化	現行契約が平成30年6月に満了するため、契約更改を行うもの	—		95,200	95,200
19				住居表示整備事業	住居表示未実施区域での住居表示及び実施済区域で街区等の形状が変わった場合の再整備を行う。	—	1,739	1,514	-225
20				住居表示維持管理	街区表示板等の破損脱落等を調査して補修を行うとともに、現状に合わせた住居表示台帳の修正を行う。	—	8,080	7,037	-1,043
21			○	住居表示(学術研究都市地区対応)事業	学研北部地区の土地区画整理事業が完了し、換地処分を行うのにあわせて、住居表示を実施するもの	—	6,757		-6,757

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 区政事務センター		重点項目	法令に基づく住民基本台帳事務、戸籍事務等を適切に行うとともに、区役所窓口ワンストップサービスの円滑な運営に資するよう迅速な事務処理を行う。								
	課長名	高橋 久美		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	5,189 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						平成29年度当初予算額(B)	5,189 千円		係長	3	人	
						増減額(A-B)	0 千円		職員	28	人	
						251,500 千円						

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				区政事務センター一般管理費	区政事務センターの管理運営に係る経費	—	5,189	5,189	0

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局広聴課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識を踏まえた市政運営の推進に資するため、市政情報の提供を行うとともに市民意識を適宜、的確に把握する。</li> <li>・市民からの問合せ、相談、苦情等に適切に対応する。</li> </ul>					
	課長名	松嶋 義隆		コスト	事業費	人件費	目安の金額	課長 1 人	係長 1 人
			平成30年度当初予算額(A)	43,181 千円					
			平成29年度当初予算額(B)	45,175 千円			51,500 千円		
			増減額(A-B)	-1,994 千円					

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				広聴事務事業	「市民意識調査」、「市政モニター」、「出前講演」、「法律人権相談」を通じて、市民意見を収集、把握し市政運営に反映させる。	「法律人権相談」の効果的な事業運営のため、各区の弁護士の配置を見直し、6名削減すると共に、各事業の更なるPRに努め、より幅広く市民の意見・要望等を収集、把握し市政運営に反映させる。	9,134	7,131	-2,003
2				広聴業務管理事務	広聴課業務の管理運営及び庁舎案内業務。		7,973	7,982	9
3				北九州市コールセンター運営事業(債務負担)	市の施設案内や手続きなど市政情報や生活情報等を提供する。	コールセンターを利用する市民の満足度を維持しつつ、より効率的な運営を図るため、受託業者への市政情報の積極的提供等を含め連携強化を図る。	25,545	25,545	0
4				北九州市コールセンター運営事業			1,983	1,983	0
5				「市民のこえ」統計情報システム	電話、手紙等で寄せられる「市民のこえ」をデータベース化するとともに、各種の統計作成検索等の簡素化を図る。	市政の施策、事業への反映させるため、担当部署との情報共有及び活用促進を図る。	540	540	0

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 地域振興課		重点項目	住民主体の地域づくり・まちづくりに向けて、地域団体の活動を支援するとともに、活動拠点となる市民センターの充実を図る。							
	課長名	倉光 清次郎		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	2,941,035 千円	目安の金額	課長	2	人
						平成29年度当初予算額(B)	2,976,070 千円		105,500 千円	係長	3
				増減額(A-B)	-35,035 千円			職員		7	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			戦時資料展示コーナー管理運営事業	市民から寄贈された戦時下の資料を展示することで、多くの市民に戦争がもたらした惨禍と平和の尊さの理解を図る。	平和の尊さへの理解促進を目的として、多くの方に来館していただくため、チラシの配布拠点を増やすなど、広報に努める。	1,453	1,329	-124
2	○			地域総括補助金	地域が一体となった地域づくりを促進するため、市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	住民主体の地域づくりの促進を目的として、地域団体に対し、地域活動の参加者増加に向けた取組を支援する。	280,063	250,058	-30,005
3	○			公民館類似施設等設置事業(地域総括補助金)	地域が一体となった地域づくりを促進するため、市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	住民主体の地域づくりの促進を目的として、地域団体に対し、地域活動の参加者増加に向けた取組を支援する。	3,820	3,438	-382
4	○			防犯灯設置補助事業(地域総括補助金)	地域が一体となった地域づくりを促進するため、市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	住民主体の地域づくりの促進を目的として、地域団体に対し、地域活動の参加者増加に向けた取組を支援する。 ※H30年度予算は、これまでの執行実績に基づき減額とした。	105,943	79,000	-26,943
5	○			地域コミュニティ活性化推進事業	住民自らが地域課題の把握や解決のための処方箋づくりを行う「地域カルテづくり」事業や、地域活動を支援するための新たな仕組みづくりの事業等を実施する。	住民主体の地域づくりの促進を目的として、地域団体に対し、地域活動の参加者増加に向けた取組を支援するとともに、地域課題への認識を深め、地域活動参加への意識の醸成を図るための「地域カルテづくり事業」について、企画から実践までを支援する。 ※H30年度予算は、これまでの執行実績に基づき減額とした。	5,180	2,770	-2,410
6				市政連絡事務委託	自治組織と配布委託契約を締結し、市が発行する市民への周知文書を各世帯に配布する。	住民主体の地域づくりの促進を目的として、地域団体に対し、地域活動の参加者増加に向けた取組を支援する。	321,568	298,017	-23,551
7	○			市民センター管理運営事業	市民(サブ)センター136館の管理運営を行い、市民センターを拠点とした地域づくりを推進する。	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、市民センターについて、利用しやすい施設の管理運営を安定的に行うとともに、施設・設備の老朽化等に対応し計画的に改修を進めるなど、機能の向上を図る。	1,821,088	1,858,093	37,005
8	○			市民センターAEDリース事業(債務負担)(H29年度～H34年度)	市民センターに設置しているAEDのリース契約に係る経費。(29～34年度)	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、市民センターについて、利用しやすい施設の管理運営を安定的に行うために、利用者に安心して施設を利用してもらえるようAEDの設置を継続する。 ※H30年度予算は、契約金額に基づき予算を計上したため減額とした。	6,600	2,812	-3,788



No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9	○			市民センター管理運営事業(債務負担)	市民センターの事務用パソコン及びプリンターのリース契約に係る経費。(29～33年度)	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、市民センターについて、利用しやすい施設の管理運営を安定的に行うために、円滑に事務を行えるようパソコン及びプリンターの設置を継続する。	7,997	7,997	0
10	○			市民センター整備事業	地域活動の拠点施設としての機能の維持・向上を図るため、老朽化対策、バリアフリー化等を計画的に行う。	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、市民センターについて、利用しやすい施設の管理運営を安定的に行うとともに、施設・設備の老朽化等に対応し計画的に改修を進めることや、市民の利便性の向上を目的とした設備を設置することなど、機能の向上を図る。	380,338	401,584	21,246
11	○			自治会等コミュニティ活動促進事業	自治会・町内会の活動の活性化及び加入率の向上を目指し、地域振興補助金を交付し、活動のPRや研修等を行う。	住民主体の地域づくりの促進を目的として、自治会の加入世帯数及び地域活動の参加者を増やすために、自治会加入促進に向けた取り組みや、地域活動の参加者増加に向けた取り組みを支援する。	28,172	26,889	-1,283
12	○			自治会加入促進事業	マンションにおける自治会設立、市外からの転入者が地域と繋がるきっかけ作り、「頼りになる自治会」になるための自治会改革の支援等、自治会加入促進を行う。	住民主体の地域づくりの促進を目的として、自治会の加入世帯数及び地域活動の参加者を増やすために、自治会加入促進に向けた取り組みや、地域活動の参加者増加に向けた取り組みを支援する。	8,700	3,900	-4,800
13				つどいの家設置等補助事業	住民が相互の交流を深める場である集会所(つどいの家)の設置・改修に対し補助金を交付する。	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、住民により身近な集会所の確保を支援する。	4,100	4,100	0
14				地域振興課一般管理費	課の管理運営に係る経費。	—	1,048	1,048	0

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 市民活動推進課		重点項目	NPO・市民活動の促進及び協働の推進を図る。							
	課長名	金井 弘毅		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	52,453 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人
平成29年度当初予算額(B)			56,706 千円			51,500 千円	係長		1 人		
					増減額(A-B)	-4,253 千円	職員 4 人				

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			NPO・市民活動促進事業	NPO・市民活動に関する、相談・助言・情報提供など、活動の側面的な支援を行う。	市民活動の裾野を広げていくために、市民活動を担う団体の育成及び新たな人材の掘り起こし等が必要となるため、既存の講座や講演会を行うだけでなく、新しくNPOの活動を市民等が体験し交流できる場を提供する。	17,346	17,199	-147
2		○		<新>NPO・市民活動体験型交流事業	NPOの活動を市民等が体験し交流できる場を提供する。			1,400	1,400
3	○			市民活動サポートセンター施設管理費	市民活動サポートセンターの管理運営に係る経費。		2,791	2,791	0
4				市民活動保険	市民が安心して市民活動に参加できるよう市が保険料を負担し、一定の補償を行う保険制度を実施する。		5,000	4,000	-1,000
5				まちづくりステップアップ事業	市民が主体的に取り組む地域の特性を活かした活動に対して、補助金を交付する。		7,221	6,021	-1,200
6	○			NPO公益活動支援事業	NPO等が専門性を発揮して行う取り組みに対して、補助金を交付する。		2,489	1,989	-500
7	○			多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。		4,698	2,627	-2,071
8	○			「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	協働に関わる人材育成を目的とした研修を実施する。		1,962	2,227	265
9	○			市民活動団体等による環境未来都市推進支援事業	「環境未来都市計画」の推進に行政・企業・地域と協働して取り組む市民活動団体等に対して補助金を交付する。		5,206	4,206	-1,000
10				旧古河鉱業若松ビル管理運営事業(指定管理)	旧古河鉱業若松ビルの指定管理経費。		-	8,304	8,304

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11				旧古河鉱業若松ビル 管理運営事業	旧古河鉱業若松ビルの修繕費。	—	395	395	0
12				旧庄司小学校活用事業	旧庄司小学校の維持管理費。	—	1,134	1,134	0
13				車両更新事業	公用車のリース経費。	—	160	160	0

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局生涯学習課		重点項目 ・学んだ人材を活動につなげる「循環型生涯学習社会」づくりの推進 ・多様な主体が協働して学習機会を提供する「ネットワーク型生涯学習社会」づくりの推進							
	課長名	コスト		事業費						
				平成30年度当初予算額(A)	49,968 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				平成29年度当初予算額(B)	56,874 千円		係長	2	人	
増減額(A-B)	-6,906 千円	職員	4	人						

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				関係団体補助金	北九州市社会教育関係団体の会員が、その自発的な学習意欲に基づき、豊かな人間性を培うとともに、社会教育関係団体が積極的に活動することを目的とし、別に定められた団体の事業（機関紙発行、研究集会参加、研修会開催）の実施に係る費用の一部に補助金を交付するもの。交付対象事業は、婦人教育関係。	会員の高齢化により、会員数は年々減少している。人材の育成に努め、補助金については、会員数に応じた補助金の額を検討していく必要がある。	1,100	800	-300
2				北九州市婦人団体協議会委託事業	地域や団体のリーダーとして女性が活動するにあたり、必要な知識を得るとともに社会参画の意識を高めることを目的とした、婦人団体の指導者研究集会を年1回開催している。また、団体の情報発信を行い団体の相互理解を深めるとともに、ネットワークを広げることを目的として発行する広報紙の作成に必要な技法を習得するための広報研修会の運営を委託して実施する。	地域活動や団体活動に必要なリーダーが不足しており、また、婦人団体の活動に参画する人材も不足している。地域や団体が行う様々な活動に参画する人材及びリーダーとして活動を牽引する人材を継続して育成する必要があるため、指導者研究集会や広報研修会を実施する。	700	700	0
3				各種委員会(社会教育委員)	社会教育の各分野の専門家を社会教育委員に委嘱・任命し、委員は教育委員会に対し、社会教育に関して助言を行う。このため、定時又は臨時に会議を開き、社会教育行政や生涯学習の推進について議論を行う。	前任期(27.8.29～29.8.28)より、会議の回数を増やすとともに、特定のテーマを設け、意見交換及びとりまとめを行った。引き続き、今任期(29.8.29～31.8.28)においても特定のテーマを設け、意見交換を実施する。	951	911	-40
4				公民館類似施設設置費等補助金	公益法人や町内会等の地域が設置する公民館類似施設に対し、設置、改修(エアコン設置を含む)、及び運営の助成を行うため、補助金を交付する。	予算の範囲内での効果的・効率的な支援を継続していくとともに、各公民館類似施設への補助交付額の見直しを含めた、より効果的・効率的な支援策を引き続き検討する。	6,000	5,400	-600
5			公民館類似施設運営費等補助金	1,428			2,032	604	
6				生涯学習管理運営費	社会教育関係研修参加費、生涯学習課、区コミュニティ支援課における生涯学習活動推進のための一般管理経費	—	8,512	6,542	-1,970

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
7	○			家庭・地域・学校パートナーシップ事業	家庭・地域への啓発事業 ◎家庭教育の啓発事業 ◎家庭教育に関する学習機会の充実 ◎家庭教育・子育て支援体制の整備	内容の充実、効果的・効率的な実施に向け、家庭・地域・学校パートナーシップ事業から一部予算を生涯学習活動促進事業へ移行し、講座を一体化し多様なニーズに対応できるように改善を図った。 家庭教育学級は、働く保護者の増加や課題の移り変わりに対応し家庭の教育力向上に向けて実施方法の改善を検討する。	9,473	5,529	-3,944
8	○			生涯学習活動促進事業	各市民センター等で、地域課題や現代的課題等の解決を目指す講座、心と体の健康づくりを目指す講座など幅広い分野にわたる講座を実施する。また、それぞれの地域の特色を生かし、家庭・地域・学校が連携して、子どもたちに様々な体験活動や世代間交流の機会を提供し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高め、地域全体で子どもの健全育成に取り組む機運を醸成する。	地理的な理由から市民センターを利用しにくい住民へ学習機会を提供するため、サブセンターでも講座を実施するとともに、地域課題解決に向けた講座の充実をはかるなど多様な学習機会を提供していく。また、子どもたちが地域の大人や異なる学年の子どもとふれあい交流しながら過ごせる場所の提供やプログラム等を実施する。地域デビュー支援事業については、団塊世代等の地域活動に取り組む人材を地域につなぎ、育成するための講座やワークショップ等を開催するものであり、市民センターにおいてこれらの講座が定着するようになったため、平成30年度より事業を廃止し、既存の生涯学習市民講座に組み込む形として実施するもの。	15,463	17,125	1,662
9	○			生涯学習推進コーディネーター配置事業	多様化・高度化する市民の学習要求に応え、生涯学習事業の充実及び学習の促進を目的に、全市民センター及び生涯学習総合センターに生涯学習推進コーディネーターを配置する。	生涯学習推進コーディネーターの配置の意義、効果に加え、人材の見つけ方などを社会教育主事等が助言しながら、全館配置に向け取り組むとともに、配置されたコーディネーターが定着するよう研修等を通じて活動しやすい環境を整える。	10,705	8,890	-1,815
10				民間教育事業者(カルチャーセンター等)との生涯学習ネットワーク構築事業	(1)ネットワーク構築のための協議会設置、開催 (2)民間との役割分担の推進に向けた取組み	民間事業者等多様な機関・団体とのネットワークのあり方について協議を実施。各主体が役割分担と連携強化を図りながら、効果的・効率的な市民への学習機会を提供していく。	800	601	-199
11				公用車リース(区コミュニティ支援課)	八幡東区コミュニティ支援課生涯学習係が使用する公用軽自動車のリースに係る経費	—	196	196	0
12	○			地域課題解決のための人材活用支援事業	地域が主体的に地域課題を解決することができるよう、地域人材の発掘～育成～活用までを体系的に支援し、地域力アップにつなげる仕組みをつくる。 (1)学んだ成果を地域に活かす講座の開催 (2)地域活動をリードする人材育成事業 (3)ボランティア(アドバイザー)グループによる支援事業	人材マッチング事業については、各区の市民センターにおいて、それぞれ地域の特性に応じた内容で実践する。また、地域活動をリードする人材育成事業については、引き続き、市民センター館長等研修の充実を図っていく。	1,000	1,000	0
13				地域づくりマネジメント研修事業	地域活動をリードする市民センター館長以外の人材(市民センター職員、まちづくり協議会会長・役員、生涯学習推進コーディネーター等)に対し、求められる資質や能力を向上させる研修を行い、地域づくりをマネジメントする人材を育成する。地域において、地域課題を主体的に考える人材を増やすことで生涯学習活動の推進、地域活動の活性化に向けた、地域全体への意識付けを目指す。	地域が直面する課題に対して、市民が主体的に行動し、解決に結びつけることができる能力を向上させる研修を実施する。助け合いや地域活動につながる自主的・主体的な「学び」を提供していくもの。	546	242	-304

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局生涯学習総合センター 管理運営課		重点項目 ・ 市民の新たな学習ニーズに対応する人材育成・調査研究・情報発信・学習相談等の機能をさらに集約・強化する。 また、市民の学習活動の場として一層の利用促進を図る。 ・ 安全・安心な生涯学習の場を提供する。									
	課長名	黒野 まゆみ		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	238,626 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						平成29年度当初予算額(B)	280,915 千円		係長	3	人	
						増減額(A-B)	-42,289 千円		職員	3	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			生涯学習総合センター事業	生涯学習情報の提供、人材育成、生涯学習支援、高度な学習ニーズに応える講座の実施などにより、生涯学習社会の実現を目指す。	厳しい予算状況の中、事業のクオリティを確保しながら、多様化する課題を的確に把握するとともに、地域課題の解決につながる人材育成を図る。	5,304	4,887	-417
2				生涯学習センター改修事業	生涯学習センターの老朽化対策及び施設の健全安全や利便性の向上を図るため、改善・保全を行う。	—	2,990	3,691	701
3				生涯学習センター管理運営費	生涯学習総合センター(婦人会館含む)及び生涯学習センター(8館)の管理運営にかかる経費	—	1,897	1,454	-443
4				生涯学習センター維持管理費	生涯学習総合センター(婦人会館含む)及び生涯学習センター(8館)の維持管理にかかる経費	—	212,892	205,034	-7,858
5				コムシティ管理経費(八幡西生涯学習総合センター)	八幡西生涯学習総合センターのコムシティ管理経費の負担分	—	16,772	16,760	-12
6				「学びの環」推進フォーラムの開催	学びの成果を活かし、地域や団体の活動、更なる学習に循環させていく「学びの環」の推進を図るフォーラムを開催する。平成28年度11月に第1回フォーラムを開催、今年度は第3回目となる。	市制55周年事業の一環として、「55」にちなんだ事業を企画し、「北九州市生涯学習推進計画(「学びの環」推進プラン)」の具体的な取り組みでもある「地域課題解決に向けた地域における学習活動、交流活動の推進」を図る。	1,000	450	-550
7		○		若松生涯学習センター大規模改修工事	若松生涯学習センター・若松市民会館合築の建物について危険箇所が発見されたため、建物全体の外壁部分について大規模改修工事を行う。	—	30,600		-30,600
8		○		小倉南生涯学習センター舞台設備更新業務	経年劣化が見られる小倉南生涯学習センターの舞台設備の緞帳裏地全体・パイプ袋の取替と、緞帳幕地の修繕・洗浄及び消防法で義務付けられている防火加工を平成29年度に行うもの。	—	8,000		-8,000
9		○		生涯学習センターAED更新	各生涯学習センターに設置したAED6台については、平成22年に購入し、平成29年度に耐用年数である7年が経過する。そのため、新規購入し、更新を行うもの。	—	1,460		-1,460
10		○		<新>若松生涯学習センター昇降機改修工事	若松市民会館との複合施設である若松生涯学習センターの昇降機は設置後30年以上経過し、機器の部品供給が平成30年9月で停止となるため、機器の更新を実施するもの。	—		2,750	2,750
11		○		<新>公共施設予約システム導入	「北九州市公共施設マネジメント実行計画」に基づき、より一層の効率的な利用を目指す方策のひとつとして、公共施設予約システムを導入する。	—		3,600	3,600

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 八幡西生涯学習総合センター		重点項目 ・市民の新たな学習ニーズに対応する人材育成・情報発信・学習相談等の機能を強化するとともに、市民の学習の場として一層の利用促進を図る。 ・また、北九州ひとみらいプレイスの事務局として人づくり支援の充実等をめざす。					
	課長名	福岡 賢司						
コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	16,606 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
		平成29年度当初予算額(B)	18,924 千円		44,000 千円	係長	1	人
		増減額(A-B)	-2,318 千円			職員	3	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			八幡西生涯学習総合センター事業	市民カレッジ及びボランティア養成講座を実施する。	事業予算削減の中、住民の学習ニーズと地域活動の実態を把握のうえ関連施設と協働し、よりクオリティの高い講座を企画・実施し、受講者数増を目指す。	2,281	2,079	-202
2				北九州ひとみらいプレイス管理運営費	北九州ひとみらいプレイス及び八幡西生涯学習総合センターの管理運営にかかる経費	—	10,289	9,793	-496
3				北九州ひとみらいプレイス事業	本市の人づくり支援機能の新たな事業展開とともに、副都心黒崎のにぎわい創出にも取り組む。	事業予算削減の中、ひとみらい交流ウィーク実施場所変更の検討や広報の効率化等予算をより効果的に配分し、引き続き人づくり支援の充実等を目指す。	6,169	4,549	-1,620
4				公用車更新	八幡西生涯学習総合センター所管の公用軽自動車について、リース契約による使用料を支出する。	—	185	185	0

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 文化企画課		重点項目 ・北九州市らしさや特長をさらに強化し、市民のシビックプライドを醸成する ・次代の担い手を育て、新たな文化芸術の創造につなげる ・文化芸術を生かした、ひとづくり、まちづくり、にぎわいづくりに取り組む ・本市の文化芸術の魅力を国内外に、積極的に発信する							
	課長名	川邊 健	コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	2,794,080 千円	人件費	目安の金額	課長	4 人
					平成29年度当初予算額(B)	2,761,078 千円		268,500 千円	係長	11 人
					増減額(A-B)	33,002 千円			職員	15 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				文化振興管理運営費	文化企画課の管理運営に係る経費。	—	2,733	12,200	9,467
2			○	(財)地域創造負担金	全国自治宝くじ販売計画に基づく「芸術文化くじ持参金」として支出するもの。	—	7,774		-7,774
3			○	市内文化施設等共通パスポート事業	文化施設の利用促進とまちの賑わいを創出するため、市内の文化施設巡りが1枚で出来る共通観覧券(パスポート)を試験的に導入(1日パス、3日パス)し、利用状況等の調査研究を行い、本格実施の可能性を検討する。	—	3,000		-3,000
4	○	○		<新>文化関連施設多言語化推進事業	2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、インバウンド(訪日外国人)対応の強化が必須となっており、市内の文化関連施設の多言語化を一体として行うもの。	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、増加が見込まれるインバウンド(訪日外国人)対応の強化が必須となっており、市内の文化関連施設の多言語化に取り組む。		6,000	6,000
5	○			北九州市文化振興基金	北九州市の文化水準の向上と地域文化の振興に資することを目的として設置された北九州市文化振興基金の運用益をもとに、市民の行う文化芸術活動等に対し助成を行う。	文化芸術に関する市民の自主的な活動を更に活発化し、その内容がレベルアップするよう効果的な支援を行っていく。	11,190	10,559	-631
6	○			北九州文学サロン管理運営事業	平成29年3月に開設の「北九州文学サロン」の管理運営を行い、施設の利用促進を図る様々な取り組みを実施しながら、「文学の街・北九州」を発信する。	「文学の街・北九州」を発信するため、地元商店街や大学生と協力して、さまざまな人が気軽に文学に接する取り組みを「北九州文学サロン」を拠点として進めていく。	12,000	11,000	-1,000
7	○			児童文学の顕彰事業	本市ゆかりの児童文学を顕彰するため、平成30年度に開設予定の子ども図書館の一角に、児童文学の顕彰コーナーを整備する。(行政経費)	平成30年度の子ども図書館開館に合わせ、展示するレプリカの製作やコーナーを紹介するリーフレット等を作成し、本市ゆかりの児童文学者をPRする。	4,800	1,000	-3,800
8	○			児童文学の顕彰事業	本市ゆかりの児童文学を顕彰するため、平成30年度に開設予定の子ども図書館の一角に、児童文学の顕彰コーナーを整備する。(29投資的経費→30債務負担経費)	平成30年度開館の子ども図書館の本体工事の工事費を一部負担する。	14,800	32,000	17,200



No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9	○	○		<新>児童文学の顕彰事業	本市ゆかりの児童文学を顕彰するため、平成30年度に開設予定の子ども図書館の一角に、児童文学の顕彰コーナーを整備する。(投資的経費)	平成30年度の子ども図書館開館に合わせ、展示物の製作・顕彰コーナーの整備を行い、本市ゆかりの児童文学者をPRする。		18,000	18,000
10			○	杉田久女・橋本多佳子顕彰事業	本市ゆかりの俳人である杉田久女・橋本多佳子の業績について観光客等にPRを行うため、展示コーナー等を設置する。	—	13,000		-13,000
11				市民文化表彰	本市の文化芸術活動において活躍し、その功績が極めて大きい個人・団体を讃えるため創設した表彰制度に関する経費。	本制度について広く市民に周知できるよう、効率的な情報発信に努めていく。	1,629	1,449	-180
12				文化情報提供事業	文化芸術情報を発信するため、冊子(フリーペーパー)「かるかる」を発行する。	市民の利便性と情報発信力の向上のため、冊子「かるかる」をH29年度中に見直し作業を行い、H30から本格的にリニューアルする	19,629	19,653	24
13			○	北九州ミュージアムウィーク連携事業	博物館・美術館等が連携する「北九州ミュージアムウィーク」を開催するための経費。	—	2,250		-2,250
14			○	文化芸術情報発信強化事業	「文化芸術の街・北九州」を市内外へ広く発信するため、ホームページや情報コーナーの整備、文化イベント情報一元化を目的とした情報集約システムの構築を図る。また、各区文化祭の合同開会式を開催し、市民の文化活動の活性化につなげる。	—	3,500		-3,500
15			○	アーツディレクター会議運営事業	専門家から、文化芸術に関する本市への助言をいただき、その助言を活用することで、創造的なまちづくりを進める。	—	2,000		-2,000
16	○			創造都市推進事業	「2020年東アジア文化都市」の開催地誘致や「北九州市アーツディレクター会議」の運営等を通じ、国内外へ「文化創造都市」としての本市の都市ブランドを発信する。	「北九州市文化振興計画(改訂版)」の中間年である平成30年は市制55周年の年であり、これを機に、文化芸術の力を活用した「創造都市」としてさらなる発展を目指していく。具体的には、「東アジア文化都市」の誘致等に取り組んでいく。なお、平成29年度は補正予算で対応したため、当初予算額は計上していない。	0	5,300	5,300
17	○			芸術文化育成負担金・補助金	本市の文化水準の向上、個性ある地域文化の振興のため、積極的に文化活動を展開している文化団体等への支援を行う。	本市の文化水準の向上や市民の文化活動の活性化をめざし、積極的に文化活動を展開している団体等の事業を助成していく。	36,350	36,350	0
18				門司港美術工芸研究所支援事業	門司港美術工芸研究所の活動支援に関する経費。	企画内容や実施方法をより充実させ、経済性や効率性を意識した取り組みを今後も継続していく。	10,800	9,000	-1,800
19	○			芸術文化活性化事業	【劇場・自主事業】 北九州芸術劇場オリジナルの演劇作品等を制作し、公演を実施する。 【響ホール・自主事業】 室内楽専用ホールの特性を活かした質の高いコンサートや、響ホールを拠点とした地元演奏家を積極的に育てるコンサートを行う。	北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽・舞台芸術等を提供していく必要がある。そのため、事業の効率化を念頭に置きながら、効果的な事業実施に努めていく。	134,851	119,874	-14,977

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
20	○			北九州国際音楽祭	地域の音楽文化の向上を図ることを目的に、クラシックコンサートを中心とした音楽祭に助成を行うもの。本音楽祭は、市制25周年を記念して始まり、30年度で31回を数え、本市の秋を彩る催し物として定着している。	平成29年度は、30回目の開催のため、予算を増額し、記念の年に相応しい多彩なラインナップを実施したところである。引き続き、企画内容等を充実させ、より質の高い音楽を提供し、集客の増加及び満足度の向上を目指す。	50,000	40,000	-10,000
21	○			現代美術センター・CCA 北九州支援事業	現代美術の世界的な拠点の一つとなることを目指して活動している研究・学習機関であり、若手アーティストの指導育成、招聘アーティストによる新作発表会のための展覧会等を開催するとともに、その活動を広く市民に浸透させるための文化講座などの事業を行っている。これらの事業を実施しているCCA北九州を支援するもの。	フェローシップ・プログラムについては、引き続き、学研都市という周辺環境を活かし、受入れ分野の多様化や他機関との協力により、充実したプログラムを実施する。また、事業内容の見直しや経費削減等を進めつつ、地域との連携を見据え、参加者の拡大とCCAの浸透に努める。	45,000	40,000	-5,000
22				芸術文化振興財団委託 事業	市民の多様な芸術文化ニーズに対応した事業を実施し、芸術文化の振興に寄与するために、北九州市芸術劇場指定管理や響ホール指定管理による事業を行う。	—	88,052	83,000	-5,052
23				芸術文化活性化事業(事 業安定化対策)	興業が中止となった場合などに生じる主催者負担を担保するため、留保付で予算を確保するもの。財団全体として資金ショート の恐れが生じた際に執行する。	市の外郭団体を有効に活用し、計画的に事業を進める。実施にあたっては、経済性や効率性も考慮に入れた運営を行う。	50,000	50,000	0
24	○			「合唱の街づくり」推進事 業	子供たちや若者を中心としたより多くの市民が合唱に親しみ、市民の歌声が響く「合唱の街づくり」を進めるため、市内外へ「合唱の街」をPRするとともに、合唱体験のワークショップ等を行う。	楽器を必要としない「合唱」は、誰もが参加しやすく、多世代が一緒に歌うことで世代間交流の促進という効果も期待される。今後も「合唱の街・北九州」を市内外にPRしていくとともに、合唱参加者のレベルアップを促し、活動の活性化を図る。	12,000	7,000	-5,000
25	○			優れた文化・芸術との” 出会い”創造事業	・通常の演奏会や公演の鑑賞ではなく、様々な形で子供たちが身近に文化芸術を体験することでその面白さを楽しめるようにする芸術体験プログラム(ワークショップ等)等を行い、文化芸術を楽しむことができる内容とすることで新たな担い手の育成に供する。 ・子どもたちや若者が文化・芸術に接する機会を拡大するため、学校・地域等における教育普及活動(=アウトリーチ)やホール等の文化施設における文化・芸術活動等を充実させる。	次世代の文化の担い手育成や文化活動の活性化のため、若者や子どもたちを中心に、優れた文化・芸術活動に触れる機会を提供していく。	18,000	10,000	-8,000
26	○			<新>発進力の高い文 化事業の支援(北九州シ ティオペラ)	本市の文化水準の向上、個性ある地域文化の振興のため、積極的に文化活動を展開している文化団体等への支援を行う。	本市の文化水準の向上や市民の文化活動の活性化をめざし、積極的に文化活動を展開している団体等の事業を助成していく。		5,000	5,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
27				松永文庫管理・運営経費	平成28年度の日本映画批評家大賞特別賞の受賞により、全国的に注目が集まっていることから、東京豊島区において企画展を実施するほか、事務員の増員や備品の充実等により、「映画の街・北九州」のシンボルとして、国内外に情報を発信する。		1,692	1,473	-219
28				松永文庫管理・運営経費 (公共施設)	松永文庫の維持管理に係る経費。	平成28年度の日本批評家大賞特別賞を受賞したこと等により、全国的に注目を集めていることから、企画展示を拡充するなど、「映画の街・北九州」を国内外に強力に発信する。	5,308	5,308	0
29	○			松永文庫企画事業	松永文庫の運営体制の充実を図り、企画展示と併せトークイベント等を開催するなど「映画の街・北九州」のシンボルとして、国内外に情報を発信する。		9,000	9,600	600
30				北九州メディア芸術創造 拠点推進事業	本市が培ってきたメディア芸術資源をさらに磨き上げ活用するため、芸術家等と産学官の連携による先進的なメディア芸術創造拠点の形成を目指す。	これまで培ってきたメディア芸術資源(マンガを中心としたポップカルチャー等)を活用し、「アジア漫画サミット」の開催に向けた誘致に取り組む。 なお、平成29年度は補正予算で対応したため、当初予算額は計上していない。	0	43,000	43,000
31				映画・テレビドラマロケ地 誘致支援助成金事業	北九州市内で撮影を行う映画・テレビドラマの製作者に対して、1件あたり3,000千円(海外作品は5,000千円)を上限として市内の宿泊費等相当額を助成する。		6,200	6,200	0
32				海外作品等誘致・支援事業	海外の映画・テレビドラマ作品の撮影を誘致することにより、本市の魅力を外に発信し、インバウンドを増加させる。さらに、本市の映画文化を活用して、アジアの若者に対する北九州市の知名度やイメージ向上を図る。あわせて、アニメ作品の誘致にも取り組む。		10,000	8,000	-2,000
33	○			映像製作誘致強化事業	本市の都市イメージの向上と交流人口の拡大による地域経済活性化のため、国内外の映画・テレビドラマ・CMなどのロケーション撮影の誘致・支援を行う。	映画やテレビドラマを通じて、本市の魅力を国内外に発信するため、引き続き、フィルム・コミッション活動を推進する。 特に、新たな観光客の獲得を見据え、海外作品の誘致に力を入れるなど、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドのさらなる確立に向けた取組みを強力に推進する。	10,188	10,188	0
34				関門連携による国内外映画・テレビドラマ誘致支援事業	ロケ地としての北九州市・下関市の魅力等を活用し、国内外の映画・テレビドラマの誘致を行うとともに、インバウンドの増加につなげるための調査を実施する。		25,000	20,000	-5,000
35				みんなで創る「映画の街・北九州」ブランド発信事業	「映画の街・北九州」という都市ブランドを市民レベルで共有するとともに、全国に発信するため、支援作品を活用して、映画にゆかりのある市民、事業者が一同に集まるPRイベントを開催する。		5,000	5,000	0
36				公用車リース経費(文化企画業務)	フィルム・コミッション業務にて使用する公用車のリース料を支出。		174	174	0
37				平尾台土地買上げ	平尾台保存管理計画に基づき、指定地域内の民有地を学術的に価値の高い地域から順次購入している。 なお、購入する地域については国・県と協議の上決定する。		23,529	23,529	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
38				「関門海峡」日本遺産連携事業	平成29年4月に日本遺産に認定された「関門」ノスタルジック「海峡」のPR等各種取り組みを、北九州・下関両市及び民間委員による協議会で実施する。	文化庁や関係各位との協議及び相互調整を行うほか、認定1周年を記念した行事を行うなど、日本遺産の魅力発信及び関門地域への誘客を進める。	2,500	4,000	1,500
39	○			小倉祇園太鼓調査事業	小倉祇園太鼓が国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されたことに伴い、文化財としての価値を明らかにすべく調査を行う。	「小倉祇園太鼓調査委員会」を開催し、多方面から詳細な調査を実施するほか、調査報告書を刊行し、調査結果報告会を行うことで、市民への還元を図る。	10,520	10,000	-520
40				埋蔵文化財発掘調査受託	開発者から受託した発掘調査を(公財)北九州市芸術文化振興財団(埋蔵文化財調査室)に委託している。	優先順位をつけながら、文化財の保存・活用に努める。	69,686	73,756	4,070
41	○			文化財保存補助	伝統文化の継承者や保存団体の活動を育成・支援し、市内の伝統文化を発掘し、次世代に継承する。	一部の無形文化財について、新たに補助申請の意向があったため、補助団体及び金額の増を行う。	1,052	1,072	20
42				芸術文化振興財団委託料(埋文調査室管理)	埋蔵文化財調査室の管理にかかる経費。	優先順位をつけながら、文化財の保存・活用に努める。	8,950	8,675	-275
43				文化財管理保全	地域の歴史や文化を後世に残すとともに、郷土愛を育むため、文化財公開施設の一般公開など、長い歴史の中で生まれ今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財の保存・活用を行う。	優先順位をつけながら、文化財の保存・活用に努める。	21,094	32,846	11,752
44		○		<新>文化財関連施設維持管理費(公共施設)	埋蔵文化財センター及び埋蔵文化財収蔵庫等の維持管理に係る経費。	優先順位をつけながら、文化財関連施設の維持管理に努める。		33,592	33,592
45		○		埋蔵文化財センター維持管理	市内で発掘調査された遺跡から出土した遺物を収蔵・展示している埋蔵文化財センターの維持管理に要する経費。		14,427		-14,427
46		○		埋蔵文化財収蔵庫維持管理費	市内で発掘した遺物収蔵施設(古城収蔵庫、道原収蔵庫、浜町収蔵庫)の管理運営費。		1,336		-1,336
47				埋文発掘調査(国庫補助)	学術調査、個人住宅建設に伴う発掘調査、または開発行為に先立つ遺跡の範囲の確認調査を国庫補助事業により実施する。	引き続き、国や県と協議を重ね、適正な調査を行っていく。	27,628	23,663	-3,965
48				埋文発掘調査(市費)	学芸員の資質向上のための講習会受講、発掘・整理器材等の経費等。	引き続き、国や県と協議を重ね、適正な調査を行っていく。	1,587	1,832	245
49				文化財保存修理補助事業	指定文化財が老朽化し、保存・活用に支障をきたすため、所有者が主体となり補修を行うもの。	引き続き、国や県、文化財所有者と協議を重ね、適正な文化財の保存を行っていく。	88,110	131,000	42,890
50		○		埋蔵文化財収蔵庫等整備改修事業	収蔵庫及び埋蔵文化財センターについて老朽化等の理由により各種整備、補修を行うもの。		630		-630
51		○		<新>埋蔵文化財センター外壁保全事業	埋蔵文化財センターについて老朽化等の理由により外壁の改修を行うもの。			5,000	5,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
52				大手町練習場運営経費	大手町練習場の維持管理に関する経費。	—	36,215	36,278	63
53				市民会館運営経費	市民会館(門司、若松)の維持管理に関する経費。	—	129,598	129,661	63
54				戸畑市民会館管理運営 費	戸畑市民会館の維持管理に関する経費。	—	116,772	116,772	0
55				北九州芸術劇場運営費	北九州芸術劇場の維持管理に関する経費。	—	894,525	884,149	-10,376
56				響ホール運営費	響ホールの維持管理に関する経費。	—	129,818	126,000	-3,818
57				旧百三十銀行ギャラリー 運営経費	旧百三十銀行ギャラリーの維持管理に関する経費。	—	6,073	6,136	63

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
58				黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業 (ホール)	平成24年度にオープンした「黒崎ひびしんホール」の施設整備に係る対価分。	(1) 工事の優先順位をつけ、計画的に修繕を行う。 (2) 指定管理者との連携を強化し、「快適性」「利便性」「自主事業」に大別されるサービスの更なる向上を求めて行く。	118,722	118,808	86
					「黒崎ひびしんホール」の施設維持管理・運営業務および芸術文化事業に関する経費。		180,115	180,115	0
59			北九州芸術劇場修繕工事実施事業	「北九州芸術劇場」のスムーズな施設運営を図るため、舞台設備等の予防保全的な修繕・改修を計画的に行う経費。	60,770		152,800	92,030	
60			八幡市民会館閉館関連事業	平成28年3月で閉館した八幡市民会館の機械警備等に係る経費。	300		261	-39	
61		○	若松市民会館大規模改修工事(実施設計・改修工事)	若松市民会館の改修を行うための設計と工事に係る経費。	80,700			-80,700	
62		○	響ホール改修工事実施事業	国際村交流センターの2階の空きスペースを、小ホール(リハーサル室)及び練習室として改修し、音楽の拠点としての機能強化を図る。	40,000			-40,000	
63			国際村交流センター改修等工事	国際村交流センターの改修工事。	10,104		9,093	-1,011	
64			芸術文化施設改修工事	芸術文化施設の改修工事。	16,778		15,100	-1,678	
65			芸術文化施設管理費	芸術文化施設の維持管理に関する経費。	5,106		2,110	-2,996	
66		○	<新> 芸術文化施設管理費(公共施設)	芸術文化施設の維持管理に関する経費。			2,684	2,684	
67			リバーウォーク北九州管理組合負担金	リバーウォーク北九州管理組合の負担金。	25,213	31,570	6,357		
68		○	<新> 若松市民会館昇降機改修工事	設置後30年以上経過し、機器の部品供給がH30年9月で停止となるため、機器の更新を実施する。		7,250	7,250		
69		○	アルモニーサンク等改修事業	アルモニーサンク北九州ソレイユホールの改修を行うための経費。	23,300		-23,300		

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 長崎街道木屋瀬宿記念館		重点項目	地域の伝統文化や文化振興の核になる施設として、機能の充実とともに集客を図る。						
	課長名	高巢 良平		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	25,586 千円	人件費	目安の金額	課長
平成29年度当初予算額(B)			27,357 千円			19,000 千円	係長		0	人
				増減額(A-B)	-1,771 千円			職員	1	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				長崎街道木屋瀬宿記念館管理運営費	郷土の歴史・文化を学ぶことができる「みちの郷土史料館」と芝居小屋をモチーフとした多目的ホール「こやのせ座」がある。地元の団体に組織される「長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会」と行政が協働で管理・運営を行っている。	年間イベントの企画の見直しや広報活動の効率化を実施することで、費用を抑えながら、課題である利用者数の増加を図る。	27,357	25,586	-1,771

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局スポーツ振興課		重点項目 スポーツを「する」、「みる」、「創る・支える」市民の増加を目指し、大規模国際大会等の誘致や市民参加型スポーツイベント等の実施、オリンピック・パラリンピック等に向けたトップアスリートの育成や競技スポーツの支援などに積極的に取り組む。							
	課長名	城戸 健一		コスト 事業費	平成30年度当初予算額(A)	2,409,399 千円	人件費	目安の金額	課長	3 人
					平成29年度当初予算額(B)	2,111,182 千円		229,500 千円	係長	9 人
					増減額(A-B)	298,217 千円			職員	14 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			北九州マラソン開催事業	スポーツの振興やまちのにぎわいづくりなどを図るとともに、本市の魅力を全国に発信するため、「北九州マラソン」を開催する。	北九州マラソンが市民の一大イベントとして根付くよう、着実に事業を実施する。	104,458	89,663	-14,795
2	○			ギラヴァンツ北九州支援事業	市民に夢と感動を与え、市民が一つになれるシンボルチームを育てるため、Jリーグ(J3)に所属するギラヴァンツ北九州に対する支援を行う。	「ギラヴァンツ北九州」への支援を継続し、本市のシンボルチームとして、市民への更なる定着を目指す。	60,000	50,000	-10,000
3	○			ホームタウン推進事業	本市をホームタウンとする「ギラヴァンツ北九州」や準ホームタウンとする「堺プレザーズ」や「福岡ソフトバンクホークス」等のスポーツ観戦や体験教室を通じ、本市のホームタウン化を図る。	市民観戦事業や、体験教室の開催等を継続し、市民が競技レベルの高いプロスポーツなどを「みる」機会の充実を図るとともに、スポーツに親しむきっかけづくりに取り組む。	64,450	63,450	-1,000
4	○			生涯スポーツ振興事業	生涯スポーツの普及・振興のため、各区においてスポーツ教室などを開催し、校区単位で開催するスポーツ行事に対する補助を行う。 また、スポーツ関係団体の運営及び事業費等の助成を行う。	教室・大会開催数の維持及び周知・PRの強化や、開催方法を工夫し参加者の増加を図る。	20,279	19,612	-667
5	○			夢・スポーツ振興事業	2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、国際・全国大会で活躍する選手を育成するため、ジュニア世代がトップアスリート等から直接指導を受ける講習会等を実施する。	通年型派遣事業の拡大を通じて、参加者の能力の向上を図り、国際大会等の大規模大会において、活躍できる選手の輩出に取り組む。	8,000	8,000	0
6	○			市民体育祭	「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図り、健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催する。	市民スポーツ参加機会の拡充を図るため、市民体育祭等の大会を開催する。	8,500	7,400	-1,100
7	○			国際大会・全国大会等スポーツ開催	国際大会・全国規模の大会の開催を行い、市民のスポーツに対する関心を高め、スポーツの普及・振興を図る。	今後も継続的に国際・全国規模のスポーツ大会等の誘致を行い、開催数の増加に努める。	3,650	3,650	0
8	○			総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	本市におけるスポーツ実施率の向上及び地域交流の促進のため、多世代、多種目、多志向を特徴とし地域住民等により自主・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組むもの。	市民スポーツ参加の機会の拡充を図るため、総合型地域スポーツクラブの活動についてPR方法を検討する。	3,779	3,459	-320



No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9				選抜女子駅伝北九州大会	女子中・長距離の育成、強化を図るとともに、競技をとおして市民の連携意識の高揚とスポーツへの参加意識の喚起を図る。	市民の連携意識の高揚とスポーツへの参加意識の効果的な喚起方法について検討する。	18,000	17,000	-1,000
10				「わくわく体験」スポーツ教室	冬季のスポーツ振興の一環として、全小学生を対象とした希望参加型のアイススケート教室の開催等を行い、青少年の健全育成と生涯スポーツの振興に寄与するもの。	アイススケート教室へのより多くの参加を促すため、効果的なPR方法について検討する。	14,675	12,900	-1,775
11				スポーツ大会選手派遣事業	国際大会や全国大会等のスポーツ大会へ出場する選手を支援することで、本市のスポーツ振興や、アスリートの育成を図る。	平成30年度は事業内容を見直し、ジュニア世代への支援の拡充を検討する。	9,162	9,162	0
12		○		<新>卓球ジャパンオープン萩村杯北九州大会開催事業	卓球ジャパンオープン萩村杯北九州大会開催にかかる経費の一部を補助するもの。なお、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、市内外に効果的にPRし、大会に訪れる集客増、まちの賑わいづくり、本市のスポーツ振興とイメージアップを図るものとする。	—		6,000	6,000
13				スポーツ強化事業	福岡県民体育大会の派遣及び競技力を向上するために実施する。	派遣競技数の維持及び大会参加体制の充実を図る。	5,140	4,907	-233
14				市民スポーツ賞事業	国際的・全国的なスポーツ競技大会において、優秀な成績を挙げた個人並びに団体で、市民の範となる方を表彰する。	継続して実施する。	1,137	1,134	-3
15				スポレク振興委託事業	レクリエーション活動のリーダー養成やスポーツ教室を実施することで、スポーツ・レクリエーションの振興を図る。	教室実施回数の増加など、既存の取り組み内容の拡充を検討する。	910	910	0
16				レディースサッカー大会開催事業	本市におけるサッカー競技者の底辺のレベルアップを図るとともに、青少年の健全育成並びに本市のスポーツ振興を目的に、レディースサッカー大会を行う。	事業内容の見直しを行い、本事業ではレディースサッカー大会のみを行うこととした。	6,696	700	-5,996
17		○		スポーツによるにぎわいづくり基金活用事業	北九州市スポーツによるにぎわいづくり基金を活用した事業を実施し、スタジアムに対する市民の盛り上げ、愛着を高めるもの。	—	4,200		-4,200

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
18				桃園市民プール(室内) 整備事業	老朽化が著しく、更新時期を迎えた市内唯一の室内公認50mプールである桃園市民プール(室内)について、整備を行うもの。	スポーツ振興計画や公共施設マネジメント実行計画に基づき、市民の健康づくり、競技大会の開催、東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致等に対応可能な施設とするため再整備を行う。	99,000	511,000	412,000
19		○		<新>本城陸上競技場 サブトラック整備事業	本城陸上競技場は、公認陸上競技場として、さまざまな競技大会が開催されている本市を代表する陸上競技場であるが、既存のサブトラックは老朽化が著しく、更新時期を迎えていることから、サブトラックの整備を行うもの。	北九州市公共施設マネジメント実行計画においては、大規模大会に対応する施設として長寿命化を図り、存続する施設となっており、国内トップレベルの大会である2018年の日本選手権リレー大会の開催が決定し、トップアスリートを含む多数の選手が参加する見込みとなったことから、サブトラックの整備を行うもの。		60,000	60,000
20				スポーツ施設維持改修 事業	対症的な対策が必要である施設のうち、現に施設の利用や運営に支障をきたし、安全性の確保を図ることができないものについて、必要な維持改修を行う。	H30に調査及び関係部署との協議を行い、H31に予算計上し、スポーツ施設の維持改修を実施予定。	81,890	0	-81,890
21				スポーツ施設更新事業	老朽化している施設の再整備や設備の更新、修繕を行う。	—	36,326	32,693	-3,633
22				スポーツ施設耐震補強 長寿命化事業	北九州市耐震促進計画や市有建築物耐震診断推進連絡会、文部科学省からの通知に基づき、耐震対策を実施する。	H30に調査及び関係部署との協議を行い、H31に予算計上し、スポーツ施設の耐震対策を実施予定。	31,550	0	-31,550
23		○		<新>スポーツ施設大型 備品整備事業	故障のため、大会が開催できない等の利用が制限され、施設運営に支障をきたしている備品について整備する。	スポーツ施設を快適に利用できるように、緊急性の高いものについて備品整備を行う。		6,900	6,900
24				スポーツ施設ユニバーサル デザイン化推進事業	高齢者や障害のある人、老若男女を問わず誰もが気軽にスポーツ施設を利用できるよう、施設のユニバーサルデザイン化を促進する。	—	7,696	6,926	-770
25				スポーツ施設予約システム 推進	インターネットを活用し、スポーツ施設紹介、施設空き情報の提供、施設の予約等を行う。	施設のネットワーク化と一元管理による事務の効率化で市民サービスの向上を図る。	3,013	2,624	-389
26			○	本城陸上競技場備品整備 事業	2018年3月31日付けで(公財)日本陸上競技連盟の公認期間が満了するが、引き続き公認陸上競技場として2018年2月に公認検定を受ける予定である。本事業では、公認を継続するために備品整備を行うものである。	—	10,450		-10,450
27			○	鞘ヶ谷競技場備品整備 事業	(公財)日本陸上競技連盟の検定員による事前審査の結果、円盤・ハンマー投擲については規格を満たしておらず、公式大会開催に対応できないものであるだけでなく危険であるとの指摘があった。本事業では、規格外となった備品で、早急な更新が必要な備品整備を行うものである。	—	9,000		-9,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
28				スポーツ施設維持管理 事業	住民サービスの向上や経費の節減を図ることを目的とし、民間事業者を含めた幅広い団体に公の施設の管理を委託するもの。	スポーツ施設の管理・運営について、引き続き、住民サービスの利便性向上を図るとともに、経費の削減についても取り組んでいく。	1,292,244	1,292,819	575
29			北九州スタジアム維持管理 事業	北九州スタジアムの維持管理や運営に必要なサービス購入料を指定管理者に支払うもの。	102,355		102,355	0	
30			北九州スタジアム用地運 用事業	新日鐵住金㈱の所有している土地を借り上げ、北九州スタジアムを設置した。契約上、新日鐵住金㈱あてに、毎年固定資産税評価額の3%の借地料を支払うこととなっている。	52,000		52,000	0	
31			スポーツ施設整備	スポーツ施設にある備品の修繕や必要物品の購入等を行う。	11,260		11,260	0	
32			スポーツ施設AED更新 事業	所管のスポーツ施設のうち、31施設のAED及び13施設の付属品の更新を行うもの。	7,650		2,000	-5,650	
33			旧響南中学校スポーツ 開放事業	旧響南中学校の格技場及び響南運動場を、施設の有効活用を目的とし、学校施設開放に準じる施設として一般開放する。	1,366		1,366	0	
34			北九州市スポーツによる にぎわいづくり基金積立 金	平成27年度より募集を開始した北九州スタジアム寄附金(平成28年末で寄附終了)、北九州マラソンスポーツ募金について、市民スポーツの普及及び振興を図り、まちのにぎわいを創出するため、基金へ積み立てるもの。	—	14,003	14,003	0	
35			スポーツ推進委員	地域におけるスポーツ・レクリエーションに関する行事の企画・立案、運営及び実施や生涯スポーツの振興やニュースポーツの普及などを行うスポーツ推進委員の活動を促進する。	地域スポーツを担うスポーツ推進委員の人材育成・活用を図る。	8,634	8,011	-623	
36			管理運営費(スポーツ)	課の一般事務費。	—	5,805	6,045	240	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
37				公用車リース経費(スポーツ振興課)	スポーツ振興課所管公用車2台と小倉南区役所コミュニティ支援課公用車1台のリース経費。(H28～H33年度債務負担限度額3,500千円)	—	583	583	0
38				公用車リース経費(スポーツ振興課)	八幡東区コミュニティ支援課公用車1台と戸畑区役所コミュニティ支援課公用車1台のリース経費。(H29～H33年度債務負担行為限度2,300千円)	—	336	336	0
39				各種委員会 (スポーツ推進審議会)	スポーツ推進審議会の開催経費。	—	531	531	0
41		○		文部科学省(スポーツ庁)派遣研修事業	文部科学省(スポーツ庁)へ派遣する職員の赴任旅費や職員用公舎借上げ料等の必要経費。	—	2,454		-2,454

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局大規模大会誘致推進室		重点項目 ラグビーワールドカップ2019日本大会及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地や大規模国際大会等の誘致に向け、戦略的な誘致プロモーション事業を展開する。							
	課長名 仲道 裕一	コスト 事業費		平成30年度当初予算額(A)	62,000 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				平成29年度当初予算額(B)	71,950 千円		54,000 千円	係長	2	人
				増減額(A-B)	-9,950 千円			職員	3	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			大規模国際大会等誘致事業	RWC2019及び東京2020等の大規模大会のキャンプ地誘致について、各都市との誘致競争をより有利に進めるため昨年度に引き続き誘致プロモーション事業を展開する。	RWC2019については、ウェールズ代表による本市での事前キャンプ実施が決定しているため、今後は公認キャンプの誘致活動を進める。さらに、誘致活動に加え、ウェールズ代表受入れのための機運醸成を目的としたウェールズとの交流事業について、準備・調整等を進めていく。東京2020についても、誘致活動を継続・強化するとともに、卓球代表チームによる本市での合宿が決定しており、本市のホストタウン相手国でもあるタイ王国を中心に交流事業を推進していく。	35,000	32,000	-3,000
2				ワールドラグビー女子セvens開催事業	平成29年4月に北九州スタジアムにおいて日本初開催となった「HSBCワールドラグビー女子セvensシリーズ日本大会」について、平成30年度も引き続き本市で受入れを行う。	前回大会は日本初開催であるとともに、北九州スタジアムで開催された初の国際大会でもあった。平成30年度についても本市で受入れを行い国際大会開催の実績を作ることで、本市のラグビー先進地域としての知名度アップ、プレゼンス向上等を図り、今後の大規模大会やキャンプ地の誘致活動を有利に進める。	25,000	13,000	-12,000
3		○		〈新〉ラグビーW杯ウェールズ交流プログラム推進事業	RWC2019においてウェールズ代表が本市で事前キャンプを実施することに関連し、ウェールズラグビー協会とともに地域的な関心の高まりと機運醸成を目的とした各種交流プログラム等を実施する。	RWC2019開催に向け、今までの誘致段階から事前キャンプ受入れが決定しているウェールズとの交流段階へと移行することで、本番に向けての地域全体の盛り上げ及び機運醸成を図る。		11,000	11,000
4				大規模大会開催のためのスポーツ備品整備事業	キャンプ地誘致活動等が本格化する中、他の自治体よりも誘致活動を優位に進めるためスポーツ施設に国際規格の備品を整備する。	本市が持つポテンシャルの向上を図り、今後のキャンプ地誘致活動等の足がかりとすることで、他都市よりも誘致活動を優位に進める。また、今後の継続的なキャンプ地や大会誘致へと繋げ、そのレガシーとして各誘致によるまちのにぎわいづくりや、トップアスリートを「みる」機会等の創出により、市民のスポーツへの意欲や競技力向上等を図る。	11,950	6,000	-5,950

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 安全・安心推進課		重点項目 ・安全・安心条例に基づき策定した行動計画に沿って、「日本トップクラスの安全なまち」及び「誰もが安心を実感できるまち」を目指して、さまざまな事業を総合的、継続的に推進する。	平成30年度当初予算額(A)		56,796 千円	人件費	目安の金額		課長	1	人
	課長名	日々谷 健司		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(B)		60,851 千円	61,500 千円	係長	2	人
増減額(A-B)			-4,055 千円			職員		4		人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			1万人の防犯パトロール 大作戦支援事業	地域の自主防犯組織である「生活安全パトロール隊」の活動を、より多くの市民等に周知し、活動参加のきっかけとしてもらうとともに、安全・安心な本市のイメージを内外に発信することを目的とする。	引き続き、同事業を実施していき、多くの市民等の防犯意識の向上を図る。	1,750	1,500	-250
2	○			生活安全パトロール隊活動 支援事業	本市の生活安全パトロール隊は、平成16年度より、安全で安心して暮らせるまちづくりのために、地域の防犯パトロールや子どもの見守り活動等の自主防犯活動を実施している。結成当初支給したジャンパーが10年を迎え、更新時期にきていることから、10年表彰を機に、平成28年から3ヶ年(平成28年～30年)で支給するもの。	開設から10年を経過したパトロール隊への顕彰と物的支援を行うことで、活動者の参加意欲の向上を図った。平成30年度は、引き続き支援を行うとともに、新たなニーズの把握に努める。	1,300	600	-700
3		○		安全・安心なまち北九州 情報発信事業	市外から転入した大学生等に、本市の安全・安心の取り組みや成果を学習・体験してもらい、その体験談や防犯知識等を、若者の視点で、情報発信してもらうことで、本市の体感治安や安全な都市イメージの向上を図る。	—	2,200		-2,200
4	○			北九州市安全・安心条例 行動計画推進事業	市民・事業者・行政(教育機関含む)が、本市の新たな「安全・安心まちづくり」を共に考え、一丸となって取り組めるよう、「北九州市安全・安心条例」の制定趣旨・目的等について理解を深める啓発事業等を実施するもの。また、その取組の成果を内外に発信するもの。	条例制定の趣旨・目的等について理解を深めるための普及・啓発活動を推進するとともに、安全・安心に関する取り組みの成果を積極的に発信する。	11,963	12,285	322
5		○		安全・安心まちづくり市民 大会	安全・安心に関して活動する様々な団体が情報交換や交流を行い、「安全・安心活動の輪」を広げ、意識の高揚を図るため、「安全・安心まちづくり市民大会」を開催する。	—	1,500		-1,500
6	○			子どもと女性の「防犯力 アップ」推進事業	「地域安全マップづくり」や「安全セミナー」を通じて、子どもの防犯意識や危険回避能力の向上を図る。また、防犯の専門家による体験型セミナーを通じて、性犯罪の実態や防犯対策を学ぶことで、女性の防犯意識の向上を図る。	平成30年度も引き続き、「地域安全マップづくり」を市内7校で、防犯の専門家による「体験型」のセミナーを市内14校で実施する。また、女性のための犯罪被害防止教室も、女性従業員の多い企業等を対象に開催し、各々の防犯意識等の向上を図る。	1,900	2,253	353
7	○			地域防犯対策事業	安全・安心条例に基づき、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	これまでの地域防犯対策事業に加え、市民・警察・関係団体等と連携して防犯意識の向上と自主防犯活動の一層の促進を図り、安全で安心なまちづくりを目指す。	33,630	28,650	-4,980

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
8				防犯活動支援補助事業	本市における地域の防犯活動を推進している各警察署内の防犯協会等に対し、財政的な支援を行う。	引き続き、各警察署内の防犯協会等へ補助金を交付し、地域の実情に合わせた防犯活動への取組を推進してもらう。	5,700	5,700	0
9				安全・安心課一般管理	安全・安心推進部(消費生活センター除く)の管理運営に係る経費である。	—	908	1,108	200
10	○	○		<新>安全・安心イメージアップ推進事業	安全・安心なまち北九州への機運を盛り上げるため、特に繁華街のにぎわいづくりを目指した取り組みをアピールすることで、まちのイメージアップを目指す。	繁華街のにぎわいづくりに取り組んでいる民間の方の活動を多くの人に知ってもらうことで、これらの活動を間接的に支援するとともに、北九州のイメージアップにつなげる。		1,500	1,500
11	○	○		<新>市制55周年記念安全・安心まちづくり市民大会	本市のさらなる安全・安心なまちづくりに向け、防犯活動を行っている団体を顕彰するほか、本市ゆかりの著名人による講演会を開催する。	市制55周年の記念事業として、安全・安心まちづくり市民大会を開催するにあたり、これまでの取り組みの成果や今後の街づくりについての情報発信を行う。		2,000	2,000
12	○	○		<新>未来を担う子どもの防犯推進事業	「教員から児童へ」「親から子へ」と知識を伝達させ、防犯意識や危機管理能力の向上を図るため、小学校の教員や保護者を対象とした講演会や体験型防犯教室を開催する。	平成29年3月に他都市で発生した児童殺害事件を受けて、教員や保護者向けに防犯の専門家による講演や体験型防犯教室を開催し、そこで得た知識を「教員・親から児童・子へ」と伝達させることで、各々の防犯意識や危機管理能力の向上を図る。		1,200	1,200

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 安全・安心都市整備課		重点項目 ・安全で安心な都市環境の整備を行うことにより、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。 ・交通事故のない環境を創出し、事故のない安全で安心なまちづくりを推進する。 ・市民等のモラル・マナーの向上を図り、迷惑行為のない快適な生活環境を創出する。									
	課長名	井手 清治		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	237,172 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						平成29年度当初予算額(B)	261,999 千円		54,000 千円	係長	2	人
						増減額(A-B)	-24,827 千円			職員	3	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			防犯カメラ運用事業	犯罪の抑止効果と都市の安全確保のため設置した防犯カメラの適切な管理運用を行う。	幹線道路防犯カメラの蓄積装置ハードウェアについて、交換より安価な保守延長契約締結で対応することにより、操作に支障を来さぬようにした。保守延長契約分の予算増額となった。	45,711	46,111	400
2	○			防犯カメラ設置補助事業	地域団体や事業者が設置する、公共空間を撮影する防犯カメラの設置経費の一部を補助する。	補助金交付対象者のうち事業者については、「主要な鉄道駅から概ね500m以内に防犯カメラを設置する事業者」との制約条件あり。H30年度では主要な鉄道駅からの範囲延長を検討する。	22,750	13,800	-8,950
3				繁華街における安全・安心施設運営事業	暴力追放と街頭犯罪抑止のため、繁華街における防犯カメラの設置費用を助成する。	H29年度「繁華街における安全・安心施設運営事業」のうち、堺町安全・安心センターの管理運営に係るものをH30年度では「繁華街における安全・安心施設運営事業(公共施設)」とした。	1,296	1,047	-249
4				繁華街における安全・安心施設運営事業(公共施設)	繁華街の安全・安心を確保するため、堺町安全・安心センターの管理運営等を行う。	H29年度「繁華街における安全・安心施設運営事業」のうち、堺町安全・安心センターの管理運営に係るものをH30年度では「繁華街における安全・安心施設運営事業(公共施設)」とした。	723	724	1
5	○			通学路防犯灯事業	通学路において、市によるLED防犯灯の設置を行い、通学路の夜間の安全確保に取り組む。	地域への通学路LED防犯灯電気代補助額(ほぼ全額補助)に変更なく、且つ、補助は他事業(地域総括補助金を含め防犯灯維持管理補助事業)で行うため、事業名称を変更。	16,340	15,900	-440
6			○	防犯灯維持管理拡充事業	市設置防犯灯の全灯調査、通学路防犯灯の整備及び地域設置防犯灯の建て替え等を促進する。	—	5,600		-5,600
7				街灯の管理(建替)	老朽化した街灯の建て替えを行う。	引き続き防犯灯の設置や管理を推進する。維持管理費低減を図るためLED化を推進する。	856	824	-32
8				街灯の管理(維持)	街灯の維持管理に要する経費とする。	防犯灯の管理を推進する。	12,684	12,630	-54
9	○			防犯灯設置事業	夜間における犯罪の発生を防止するため、LED防犯灯を設置し、安心して生活できるまちづくりを促進する。	引き続き防犯灯の設置や管理を推進する。維持管理費低減を図るためLED化を推進する。	40,009	34,814	-5,195
10				防犯灯設置補助事業	LED防犯灯の設置促進を図るため、防犯灯を設置する団体(自治連合会、未加入団体)に対して、費用の一部を補助する。	地域と市が連携を図り、引き続き防犯灯の設置や管理を推進する。維持管理費低減を図るためLED化を推進する。	2,389	4,185	1,796
11				防犯灯維持管理事業	市設置防犯灯の維持管理を行う。	防犯灯の管理を推進する。	18,999	18,026	-973



No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12				防犯灯維持管理補助事業	町内会等で設置する防犯灯の経費(電気代等)を補助する。	地域と市が連携を図り、引き続き防犯灯の設置や管理を推進する。維持管理費低減を図るためLED化を推進する。	1,445	3,239	1,794
13		○		「自転車マナーアップ北九州」推進事業	自転車のルール・マナーアップを推進するため、自転車交通ルール検定の実施など自転車安全教育や啓発の更なる推進とともに、万が一に備えた自転車保険の加入促進に取り組む。	引き続き、自転車交通ルール検定の実施などにより、自転車の安全利用を推進し、自転車関連事故の防止を図る。また、自転車保険の加入促進なども取り組む。 No.22「青少年交通安全推進事業」へ統合により廃止	2,000		-2,000
14	○			交通安全センター管理運営事業	北九州市立交通安全センターの管理運営及び交通公園内外における交通安全教室の実施等を交通安全教育に精通した事業者へ委託する。	引き続き、交通公園での交通安全教室などで、自転車の安全運転を促進し、交通事故防止を図る。	27,573	27,573	0
15				交通安全施設整備事業	通学路に「文」マークを設置し、通学路での児童の登下校の安全を確保する。	引き続き、交通安全での教育や広報啓発などを実施し、交通事故防止を図る。 青少年の交通安全の推進に係る費用については、No.22「青少年交通安全推進事業」へ統合	1,800	1,600	-200
16			交通安全推進団体補助金	交通安全推進団体の自主的な活動を促進するため、活動を助成する。	8,273		8,273	0	
17	○			交通安全推進事業	第9次北九州市交通安全計画に基づき、交通安全教育及び広報啓発活動を実施し、交通安全思想の普及および交通事故の防止を図る。		7,802	4,662	-3,140
18		○		交通安全推進事業(旧交通安全管理運営費)	第9次北九州市交通安全計画に基づき、交通安全教育及び広報啓発活動を実施し、交通安全思想の普及および交通事故の防止を図る。		4,745		-4,745
19				交通安全管理運営費(公共施設)	交通安全センター施設修繕及び維持補修費である。	交通安全センターの維持管理を行う。	310	310	0
20				山九交通遺児奨学金	高等学校等に在学する交通遺児に対して、返還を要しない奨学金を給付し、修学を支援する。	引き続き、生徒や保護者、学校などに対して市政だよりなどにより、本奨学金制度の周知を図る。	3,728	3,539	-189
21	○	○		<新>運転免許証自主返納支援事業	高齢運転者が加害者となる交通事故の防止を目的として、運転免許証の自主返納を支援する。	高齢者運転シミュレーター体験教室の実施などにより、交通事故防止を図る。		5,500	5,500
22	○			青少年交通安全推進事業	青少年の交通事故防止のため、新小学一年生へ黄色い帽子の配布や、中学生を対象とした自転車交通ルール検定などを実施し、交通安全の推進を図る。	新小学一年生へ黄色い帽子の配布や、中学生を対象とした自転車交通ルール検定などを実施し、交通安全の推進を図る。		6,500	6,500
23	○			モラル・マナーアップ関連条例推進事業	小倉・黒崎地区を迷惑行為防止重点地区に指定し、4つの迷惑行為を対象に過料を適用することにより、迷惑行為のない快適な生活環境の確保を図る。	引き続き、重点地区(小倉都心、黒崎副都心地区)において巡視活動を実施する。	29,492	24,022	-5,470
24		○		迷惑行為防止重点地区サイン整備事業	迷惑行為防止重点地区内の路面標示等サイン整備の充実を図ることで、円滑な巡視活動や広報・周知の取り組み強化につなげ、市民のモラル・マナーアップを推進する。	—	2,000		-2,000
25				迷惑行為をしない・させない人づくり事業	各年代に応じた内容のモラル・マナーアップ教育を進めるとともに、迷惑行為防止に向けた様々な市民活動への参加意欲を高め、活動の活発化を図るため、教育教材や啓発物品の提供等を行う。	学校、地域団体、NPO、企業等に対して、周知を行う。	5,474	3,893	-1,581

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 安全・安心相談センター		重点項目 ・事業者や市民が警察・行政とともに一丸となって、暴力追放に取組める環境を目指す。 ・交通事故相談、民事介入暴力相談、犯罪被害者支援などの相談窓口に加え、市民の安全・安心にかかる相談を受け、市民サービスの向上を図る。					
	課長名	日々谷 健司		コスト	事業費			
平成30年度当初予算額(A)			59,425 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
平成29年度当初予算額(B)			67,835 千円		29,000 千円	係長	1	人
増減額(A-B)			-8,410 千円		職員	1	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)	
1	○			暴力追放啓発推進事業	市民等が暴力団排除の重要性についての認識を深め、暴力団排除のための活動に自主的に取組むことができるよう広報及び啓発に関する取組みを実施する。	警察・行政・市民とが連携・協力して、安全・安心なまちづくりを促進する環境を整えるとともに、市民意識の高揚を図る。また、市民の不安感の払拭に向けて、警察などの関係機関と連携し、引き続き暴追活動を行う。	6,403	4,531	-1,872	
2	○			暴力追放運動推進補助事業	「北九州市暴力追放推進会議」や各区暴力追放活動推進団体及び「(公財)福岡県暴力追放運動推進センター」に対し、活動経費などの補助金を交付する。		3,070	3,070	0	
3	○			暴力団事務所撤去運動支援事業	市民等による暴力団排除の自主的な取組を支援し、社会全体での暴力団排除機運を更に高め、浸透させていくため、福岡県の制度と連携して、暴力団事務所として事務所を使わせないための市民運動・住民訴訟等の実施費用を補助する。		6,800	6,000	-800	
4	○			民事介入暴力相談事業	民事介入暴力相談員を配置し、民事介入暴力等の相談に応じ、相談者の問題解決を図る。		市民が気軽に相談できる体制を整えることで、より効率的で効果的な運用を図る。	27,238	21,968	-5,270
5	○			安全・安心総合相談ダイヤル事業	市民生活の身近な安全・安心に関する相談を受け付ける「安全・安心総合相談ダイヤル」を円滑に運用し、市民の相談機会の充実と不安感解消を図る。		1,879	1,479	-400	
6				生活環境パトロール事業	市民の安全で快適な生活環境を確保するため、道路などを定期的にパトロールするとともに、市民等からの情報提供に迅速な対応を行う。		市民が気軽に相談できる体制を整えることで、市民通報に対応したパトロールを重点的に行う。	19,761	19,693	-68
7				犯罪被害者等支援事業	「福岡犯罪被害者総合サポートセンター」及び「性暴力被害者支援センター・ふくおか」の運営費の一部負担を行うことで、犯罪被害者支援施策の充実を図る。		支援センターとの連携と、支援体制の強化を図る。	2,684	2,684	0

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 消費生活センター		重点項目	消費者トラブルの解決支援、消費者被害の未然防止に努める。 自立した消費者の育成に努める。 計量行政の円滑な推進に努める。						
課長名	川原 泉	コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	141,110 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				平成29年度当初予算額(B)	148,505 千円		109,000 千円	係長	3	人
				増減額(A-B)	-7,395 千円			職員	9	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				消費生活センター 相談業務推進事業	消費者トラブルの解決支援のため、専門の資格を有する消費生活相談員による相談対応・情報収集等を行う。	・相談員のレベルアップや情報収集に努め、消費者により有効な助言・支援ができる体制を作る。	79,013	79,013	0
2	○			消費者被害防止体制整備	消費者被害の未然防止及び消費者トラブルの解決支援のため、消費生活審議会や、専門家による相談会を開催する。	・幅広い年代が気軽に参加できる講座やイベントを実施し、消費者問題に関する知識を多くの市民に普及させることで、自立した消費者を育成するとともに、地域での見守りにつなげる。	1,251	1,139	-112
3	○			消費者啓発推進事業	広報誌「くらしの情報」の発行や、消費者学級の支援を行い、消費者への啓発活動を推進する。	・既存の高齢者見守り事業を活用し、一人暮らしの高齢者等の見守りの輪を広げる。	1,825	448	-1,377
4				消費者団体活動の育成	北九州市消費問題婦人協議会に事業を委託し、団体の活動を通して消費者への啓発及び消費者教育を推進する。	・若年者への効果的な情報伝達手段として、インターネット等を活用した情報提供を行う。	3,736	3,736	0
5	○			消費者行政推進事業	「福岡県消費者行政推進事業補助金」を活用し、消費者被害の未然防止及び自立した消費者の育成のための各種事業を実施する。	・市主催のイベントや事業、情報紙、公共交通機関等を活用し、集中的にニセ電話詐欺への注意喚起を行う。	22,005	17,630	-4,375
6				計量一般事務	計量検査所の管理運営のほか、計量法に定められている特定計量器定期検査などの検査業務を実施するための経費。	—	25,597	25,902	305
7				消費生活センター運営	消費生活センター所管の施設及び相談窓口の管理運営に係る経費(計量検査所を除く)。	—	10,848	7,742	-3,106
8		○		質量比較器更新事業(目量1mg及び0.01mg)	はかりの定期検査に用いる実用基準分銅の質量の確認のため必要な質量比較器を更新する。	—	4,230		-4,230
9		○		<新>計量検査所恒温 室空調機器取替	計量検査業務に必要な精密な分銅や質量比較器を保管する恒温室が故障等で計量法等に規定される保管条件を満たせない状況となっているため、エアコン等恒温室の空調設備の一部を更新し、適法な質量標準管理体制を整える。	—		5,500	5,500

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 美術館 普及課・学芸課		重点項目	・平成29年11月にリニューアルオープンした本館の企画展、コレクション展を充実させ、本市の文化発進拠点としての機能を果たすことにより、「市民の生活に潤いと豊かさを創出し、地域とともに成長していく美術館」の実現を目指す。 ・美術鑑賞事業「ミュージアム・ツアー」の対象者を、市内の小学校3年生に拡充し、子どもたちのシビックプライドの醸成をはかる。						
	課長名	木原 生晴 西村 勇晴		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	370,206 千円	人件費	目安の金額	課長 2 人
						平成29年度当初予算額(B)	1,094,814 千円		110,500 千円	係長 2 人
					増減額(A-B)	-724,608 千円	職員 9 人			

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				美術品購入事業	美術作品を購入するための経費	—	5,435	4,885	-550
2				美術館所蔵作品修復事業	所蔵する美術作品を修復するための経費	—	1,134	996	-138
3				美術品取得基金	美術作品を購入する事を目的とした美術品取得基金の利息分の費用(新たな積立はなし)	—	94	17	-77
4		○		リニューアル記念特別展「ターナー展」	美術館本館のリニューアルオープンを記念した特別展	—	30,000		-30,000
5	○			美術館企画展	美術館の企画展を開催するための経費	分館での4企画展に加え、リニューアル後の本館で5回の企画展を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。	95,312	139,517	44,205
6	○			美術館コレクション展	美術館コレクション展を開催するための経費	明確なテーマを掲げたコレクション展を開催。コレクションごとに講師を招聘して公開講演会を実施し、広く市民に美術の魅力を伝えるときともに、観覧者数の増加を目指す。	1,499	4,606	3,107
7	○			美術鑑賞事業「ミュージアム・ツアー」	市内の小学3年生を対象に、リニューアル後の美術館を舞台に美術鑑賞プログラムを実施する。	平成29年度は、戸畑区、八幡東区の小学3年生を対象としたが、平成30年度は市内の小学3年生を対象にする。	6,000	35,000	29,000
8				美術館教育普及事業	小中学生や市民が美術作品に触れる機会を創出するために実施するワークショップ、市内の小・中学生を対象としたたんけんパスポート事業の実施。	休館中に休止していたボランティア育成を再開する。	1,510	2,640	1,130
9		○		美術館大規模修繕事業	昭和49年に建築した本館等について、老朽化に伴い施設の大規模な改修が必要となっており、その実施に要する経費	—	759,600		-759,600
10				美術館管理運営事業	美術館の管理運営に係る経費	—	129,099	162,848	33,749
11		○		黒崎市民ギャラリー管理運営費	黒崎市民ギャラリーを運営するための経費	平成30年度より、No.10「美術館管理運営事業」に統合した。	11,909		-11,909

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12				美術館施設改修	美術館の建物・設備の維持補修に必要な経費	—	5,552	4,997	-555
13		○		美術館昇降機修繕事業	美術館本館エスカレーター(1基)の修繕に必要な経費	—	46,000		-46,000
14				美術館シャトルバスリース	美術館シャトルバス運行に必要なマイクロバス1台のリース料	—	670	700	30
15		○		開館記念事業	美術館リニューアルオープンを記念した式典・講演会等の開催及びパンフレット	—	1,000		-1,000
16		○		<新>美術館アネックス棟防水補修工事	雨漏りが激しい美術館アネックス棟の防水修繕を実施する。	—		14,000	14,000

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 自然史・歴史博物館 普及課・自然史課・歴史課		重点項目 過去最高の62.2万人の入館者を記録した平成25年度から5年が経過し、リニューアル効果に翳りが見えはじめていることから、魅力的で集客力のある特別展の開催、集客の柱である団体客の集客・誘致に取り組み、地域の賑わいの拠点施設としての魅力向上や更なる学術・文化の発展、教育普及活動の充実を図る。							
	課長名	井上 智史 真鍋 徹 松井 和幸		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	330,620 千円	人件費	目安の金額	課長
			平成29年度当初予算額(B)	312,067 千円		222,000 千円			係長	6 人
			増減額(A-B)	18,553 千円					職員	17 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			博物館企画展・特別展開催事業	調査研究や資料収集の成果を元に魅力ある特別展を開催することで集客を図り、地域の賑わいの拠点施設を目指すとともに市民文化の創造に寄与する。	・集客力のある夏期の大規模展覧会や世界文化遺産に関連する展示など、時機を捉えた企画を特別展として開催することで、メディアの露出やタイアップの獲得を図り、効果的な集客につなげる。	16,600	17,922	1,322
2	○			いのちのたび博物館大規模特別展開催事業		・特別展の開催にあたり、外部資金(民間出資金)の獲得を図る。	39,000	32,000	-7,000
3		○		<新>いのちのたび博物館魅力向上・インバウンド対応事業	人気展示である「エンパイラマ館」のシステムやメカ類の更新を行い、さらに多言語化や新規演出の追加を行う。平成30～32年度(3年間)を事業期間とする。	・常設展の目玉展示である「エンパイラマ館」の更新を行い、魅力の向上・インバウンド対応により集客力の増強を図る。		30,000	30,000
4	○			博物館セカンドスクール事業	博物館を第二の学校とし、子どもたちの理科・社会科への学習意欲の向上を図る。		1,857	1,617	-240
5				ジオパーク活動推進事業	日本ジオパーク認定に向け、本市のジオパーク活動の活性化及び普及活動を図る。	・社会科見学や校外学習などによる博物館利用をさらに促進し、第二の学校としての機能や役割の向上を図るため、学校団体の誘致活動を推進する。	1,782	1,552	-230
6				博物館教育普及事業	博物館講座・教室の開催により本市の学術文化の発展に資する。	・限られた予算の中で、効果的な資料の収集・整備に努めるとともに、着実な研究活動を行なうことで効率的な施設運営を行なう。	1,354	1,178	-176
7				博物館資料収集・調査研究事業	学芸員の調査・研究を支援し、個々の資質向上を図る。また、資料収集により、調査研究に役立てる。	・本市の誇るべき地質遺産の保全や環境学習の推進、集客の拡大につなげるため、着実にジオパーク活動を推進する。	6,176	5,378	-798
8				博物館既存資料整備事業	保有する資料の中で、寄贈・寄託等による未整理・未修復の資料を展示可能な状態に整備する。	・現在本市が全庁的に取り組んでいる「小倉城周辺魅力向上事業」の一環として、小倉城及びその城下町の歴史を掘り起こし、わかりやすく提示した書籍を出版することで、文化・観光資源としての小倉城の価値を高め、市民のシビックプライド向上に寄与するもの。	6,898	6,208	-690
9				「小倉城と城下町の歴史(仮)」出版事業	小倉城・城下町の歴史を掘り起こし、わかりやすく提示する書籍を出版することで、市民等の知識と関心を高め、文化・観光資源としての小倉城の価値を高める。		5,000	2,000	-3,000
10				博物館維持管理費	博物館の施設維持管理に係る経費。		228,477	228,477	0
11				博物館運営事業費	施設維持管理以外の管理運営に係る経費。		4,923	4,288	-635

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 松本清張記念館事務局		重点項目	平成28年に改訂した「北九州市文化振興計画」を推進し、松本清張の偉大な業績を称え、後世に継承していくことにより、「芸術・文化によるまちづくり」に努める。この目標に沿った事業を展開し、清張文学の資料を収集し、研究するとともに、市内外に情報発信し本市のイメージアップを図る。						
	課長名	在間 順一		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	79,639 千円	人件費	目安の金額	課長
				平成29年度当初予算額(B)	66,618 千円				係長	1 人
				増減額(A-B)	13,021 千円		51,500 千円		職員	4 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			松本清張記念館普及事業	①企画展(年2回)の開催 ②講演会・読書感想文コンクールなどの市民芸活動支援事業	来館者数の増加を図るため、更に魅力的な講演会や企画展を開催するよう努める。	7,818	8,769	951
2	○			松本清張記念館研究センター事業	①松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業 ②松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業 ③研究誌発行事業	松本清張とその作品の研究を行うと共に研究発表会や研究誌の発行等により、市内外への情報発信に努める。	5,600	5,072	-528
3				松本清張記念館管理運営費	館の管理運営に関する経費	—	22,439	20,437	-2,002
4				松本清張記念館管理運営費(公共施設)	館の維持修繕、管理等に関する経費		29,261	29,261	0
5		○		<新>松本清張記念館開館20周年記念事業	開館20周年を記念して、講演会やコンサート等の多彩な事業を実施することにより、市民をはじめより多くの方に清張の人と作品に触れる機会の充実を図り、記念館の魅力ある事業や「文学の街・北九州」を発信する。	より多く、より幅広い人が興味を持つよう、知名度や話題性の高い内容の事業を企画する。	/	14,000	14,000
6		○		<新>松本清張記念館施設整備事業	電気系統の老朽化に伴い、機器の更新等を行う経費			定期的点検等で指摘のあったものから、緊急性、重要性を考慮して優先順位をつけ、計画的に取り組む。	2,100
7		○		IT技術を活用した展示内容の拡充等事業	IT技術(AR)を活用して「展示資料の外国語表記」を行い、外国人来館者の対応を図る。	—	1,500	/	-1,500

平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 文学館事務局		重点項目 ・北九州市ゆかりの優れた文学者に関する資料の保存・収集及び調査研究の充実を図り、情報を発信することにより市民の誇りを醸成する。 ・多くの市民が文学に親しむ機会を拡大するため、企画展や講演会、文学講座の開催、文庫本の発行等の普及事業を実施する。 ・文学賞等を実施することにより、幅広い年齢層の文学界人材育成を目指す。									
	課長名	岩村 恭代		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	78,393 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						平成29年度当初予算額(B)	76,676 千円		59,000 千円	係長	1	人
増減額(A-B)	1,717 千円	職員	5	人								

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			文学館普及研究費	企画展の開催や、各種講座、研究事業等を実施する。	北九州ゆかりの文学者の調査研究の充実を図るとともに、集客力の高い企画展の開催に力を入れる。	18,624	19,455	831
2				文学館管理運営費	文学館の管理運営に係る経費。	—	8,170	8,906	736
3				文学館管理運営費 (公共施設)	文学館の維持管理等に係る経費。	—	15,380	15,380	0
4	○			林芙美子文学賞	「林芙美子文学賞」に関する経費。	多くの文学者を輩出した北九州市の豊かな文化的土壌を全国に発信する。また、受賞者が文学界で活躍する足がかりとなるような受賞後のフォローの充実に努める。委託料等の見直しなどにより、予算減となった。	16,000	12,277	-3,723
5	○			子どもノンフィクション文学賞	「子どもノンフィクション文学賞」に関する経費。	小中学生、学校関係者等への積極的なPRを展開し、認知度アップを図り、応募件数の増加に勤める。委託料等の見直しなどにより、予算減となった。	12,502	10,942	-1,560
6				文学館文庫発行事業	絶版等で入手困難な北九州ゆかりの作家の文庫本を発行し、「文学の街 北九州」の全国への発信と、本市の文化振興を図る。	—	3,000	2,000	-1,000
7		○		北九州市立文学館展示 リニューアル検討事業	平成32年度のリニューアルオープンに向けて学識経験者等による「北九州市立文学館展示リニューアル検討会」を開催し、同検討会で出された意見等を踏まえながら、その後の基本的な方向性やコンセプトなどを決定するもの。	—	2,000		-2,000
8		○		文学館研究成果発信事業	文学館で行う研究成果を外部に発信するための冊子を発行する。	—	1,000		-1,000
9		○		<新>北九州市立文学館 展示リニューアル事業	「北九州市立文学館展示リニューアル基本計画」に基づき、2020年のリニューアルオープンに向け、基本・実施設計を実施。	現在の展示の対象作家が明治から昭和までに活躍した作家に留まっている。小中学生などの若年層の入館が少ない。平成32年(2020年)オリンピック・パラリンピック東京大会に合わせて実施される文化プログラムに対応する必要があるなどの課題に対応するため、平成32年度のリニューアルに向け、平成30年度の設計予算を計上する。		9,400	9,400
10		○		<新>文学館電話交換機等設置	電話交換機等の交換作業を行う。	—		33	33



平成30年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局漫画ミュージアム事務局		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画文化の振興を図るため、「見る」、「読む」、「描く」の3つのテーマに沿った魅力ある事業を実施する。</li> <li>・漫画の魅力・ポテンシャルを海外へ発信するとともに、海外インバウンドの強化を図る。</li> <li>・北九州スタジアムの完成や、都市集客アクションプランを踏まえ小倉駅新幹線口地区の賑わいを創出する。</li> </ul>							
	課長名	中原田 香織		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	216,733 千円	人件費	目安の金額	課長	1
				平成29年度当初予算額(B)	214,733 千円		44,000 千円		係長	1	人
				増減額(A-B)	2,000 千円				職員	3	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				北九州国際漫画大賞	漫画の持つ魅力・ポテンシャルを国内外に向けて広く発信し、漫画文化の普及を図るため、北九州国際漫画大賞(漫画のコンテスト)を実施する。	効果的・戦略的な広報により周知を図った。	7,000	7,000	0
2				日中韓新人MANGA選手権	漫画文化の普及・振興を図るため、漫画家を志す新人クリエイターの発掘、国際的な活躍への支援を行う日中韓新人MANGA選手権(3か国持ち回り)を本市で開催する。	公平性とレベルの維持を両立できる方法を検討し、H30年度の北九州市開催への準備を行った。	5,000	10,000	5,000
3		○		漫画ミュージアム海外集客対策事業	海外インバウンドの強化のため、外国語の館内ガイドを作成する。	—	3,000		-3,000
4				漫画ミュージアム普及事業	北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指す。	新規来館者及び固定客の増加に向けての魅力ある展示会の実施、イベントでのPR活動を実施し、普及を図った。	59,050	59,050	0
5				漫画ミュージアム管理運営費	一般事務費	—	140,683	140,683	0